

2026年3月期 決算説明会資料

日東工器株式会社

東証プライム：6151

技術で、人を想う。

2026年6月1日

	01 2026年3月期 決算概要	P.03
	02 2027年3月期 業績計画・株主還元	P.15
contents	03 中期経営計画2026の進捗状況	P.20
	04 トピックス	P.24
	05 参考情報	P.28

2026年3月期

売上高 272億円（前期比+0.1%） 営業利益 11億円（前期比-49.5%）

- 売上高は、米国関税の影響を受けた需要減はあったものの、迅速流体継手とリニア駆動ポンプの売上増により横ばい
- 営業利益は、新工場稼働に伴うコストの増加に加え、材料費の増加により前期を大幅に下回る
- 親会社に帰属する当期純利益は、新工場投資に係る補助金（23億円）を計上したことにより前年同期比で59.4%増加

2027年3月期
計画

売上高 291億円（前期比+7.0%） 営業利益 17億円（前期比+48.1%）

- 環境対応製品の需要拡大を確実に取り込み、水素・新エネルギー関連事業への積極展開により売上の伸長を図る
- 国内外の製品価格改定、半導体業界、自動車業界と新分野向けの案件拡大により利益増加を見込む

株主還元

2027年3月期の年間配当金は32円を予想

- 配当性向40%を目途に中間配当16円、期末配当16円を予定

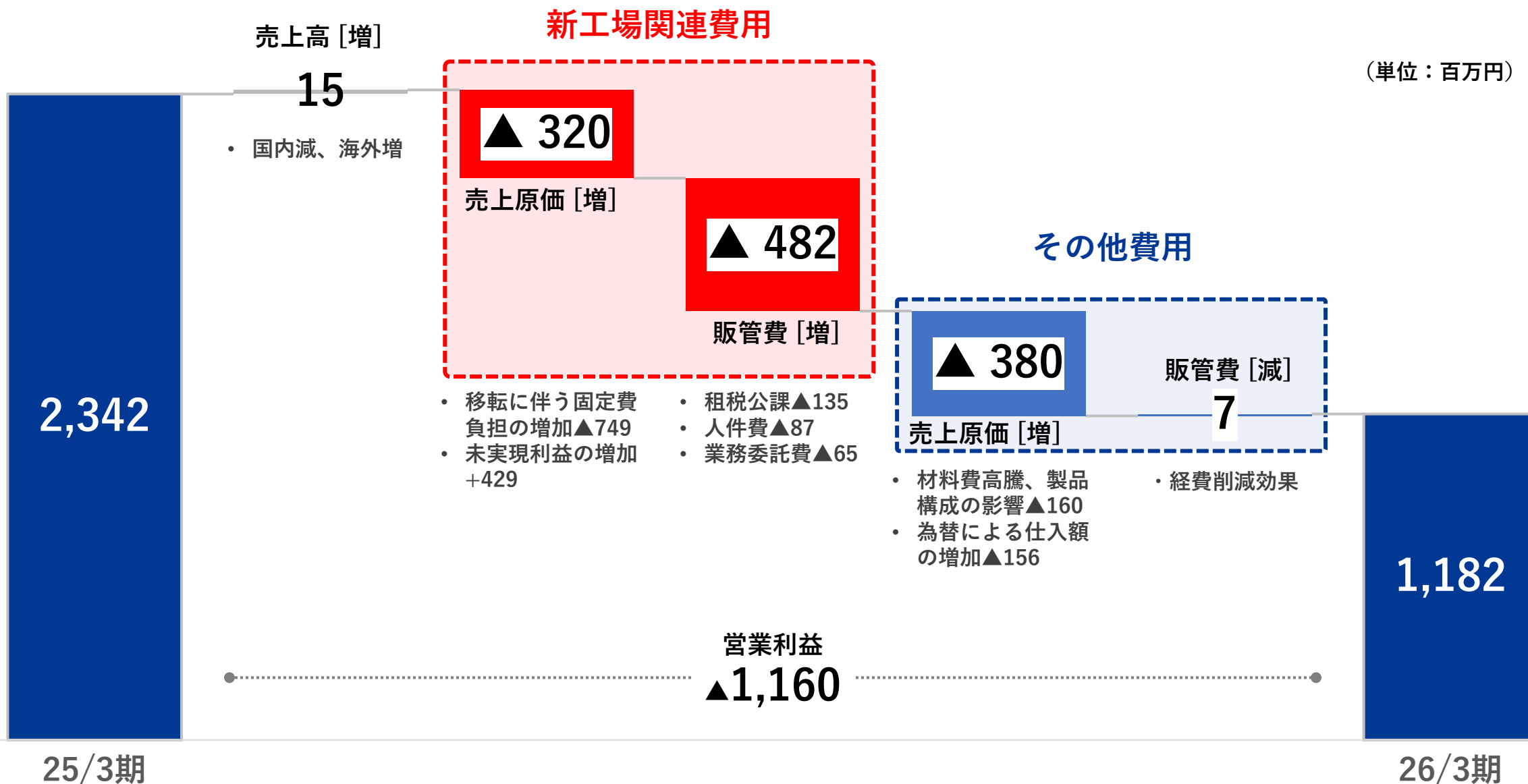
※中東情勢による不確実性については通期予想に織り込まず。

contents	01 2026年3月期 決算概要	P.03
	02 2027年3月期 業績計画・株主還元	P.15
	03 中期経営計画2026の進捗状況	P.20
	04 トピックス	P.24
	05 参考情報	P.28

- 売上高は、米国関税の影響を受けた需要減はあったものの、迅速流体継手とリニア駆動ポンプの売上増により横ばい
- 営業利益は、新工場稼働に伴うコストの増加に加え、材料費の増加により前期を大幅に下回る
- 親会社に帰属する当期純利益は、新工場投資に係る補助金（23億円）を計上したことにより前年同期比で59.4%増加

(単位：百万円)	25年3月期		26年3月期		増減額	増減率
	額	率	額	率		
売上高	27,256	-	27,289	-	+33	+0.1%
売上原価	15,113	55.5%	15,832	58.0%	+718	+4.8%
売上総利益	12,142	44.5%	11,456	42.0%	-685	-5.6%
販売管理費	9,799	36.0%	10,274	37.7%	+474	+4.8%
営業利益	2,342	8.6%	1,182	4.3%	-1,160	-49.5%
経常利益	2,510	9.2%	1,466	5.4%	-1,044	-41.6%
特別利益	-	-	2,370	8.7%	+2,370	-
特別損失	169	0.6%	587	2.2%	+417	+245.8%
親会社に帰属する 当期純利益	1,345	4.9%	2,144	7.9%	+799	+59.4%

(単位：百万円)



為替の営業利益に与える影響

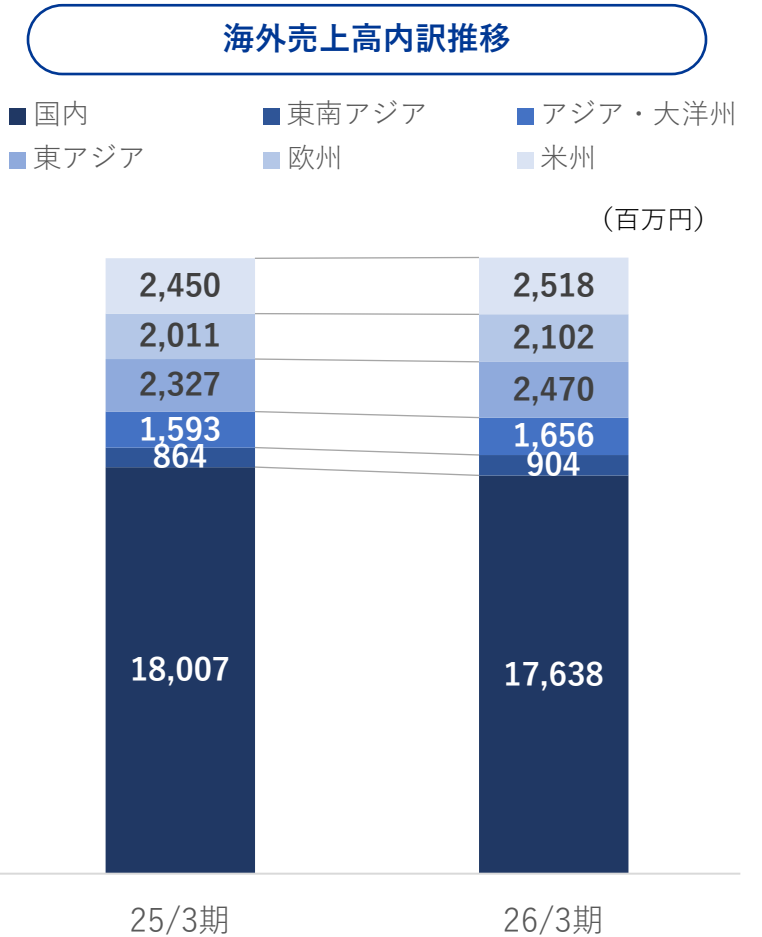
(単位：円)	25年3月期 実績	26年3月期 実績	27年3月期 計画	通貨別 営業利益に対する影響額 (百万円)	
USドル	158.18	156.56	150.00	USドル	-12
ユーロ	164.92	184.33	174.00	ユーロ	49
英ポンド	199.02	211.43	199.00	英ポンド	8
豪ドル	98.50	104.82	97.00	豪ドル	1
タイバーツ	4.64	4.97	4.70	タイバーツ	-134
				合計	-90

- タイバーツの為替影響により
売上原価が上昇

地域別売上実績

- 国内は、米国関税の影響を受けた需要減と建設需要の低迷により売上が減速
- 海外は、中国において迅速流体継手事業が回復基調

	25年3月期	26年3月期	前期比	
	実績	実績	増減額	増減率
(単位：百万円)				
国内	18,007	17,638	-369	-2.1%
海外	9,248	9,651	+403	+4.4%
米州	2,450	2,518	+67	+2.8%
欧州	2,011	2,102	+90	+4.5%
東アジア	2,327	2,470	+142	+6.1%
アジア・大洋州	1,593	1,656	+62	+3.9%
東南アジア	864	904	+39	+4.6%
海外比率	33.9%	35.4%	--	--

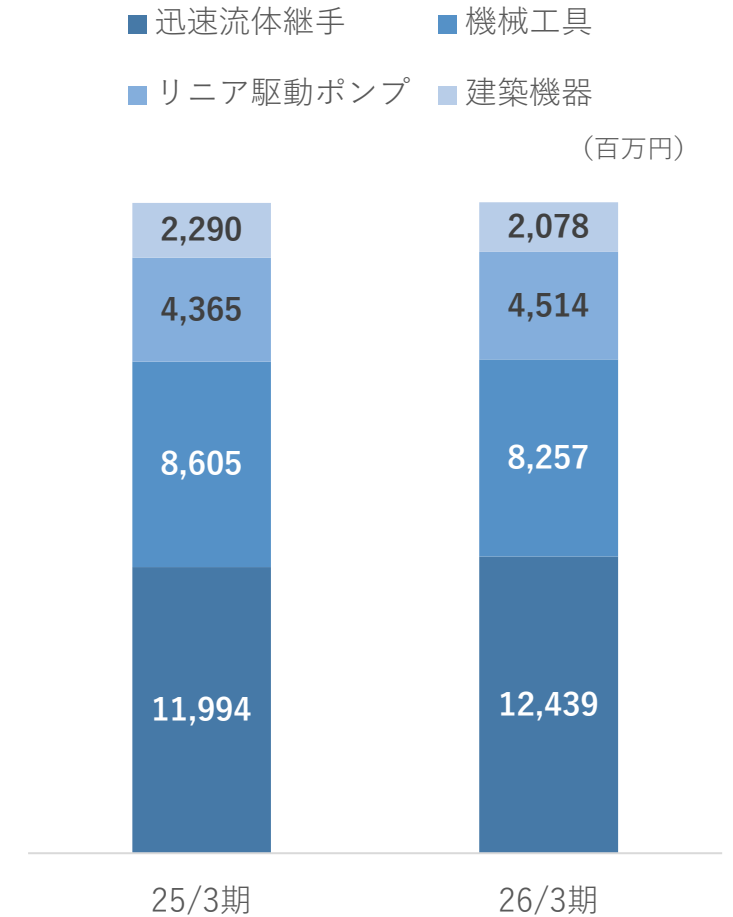


セグメント別業績

- 迅速流体継手は産業機械向け製品の底堅い需要により増収。リニア駆動ポンプは欧州の売上増により増収
- 機械工具および建築機器は新工場の固定費増加により営業損失

(単位：百万円)

	25年3月期	26年3月期	増減率
売上高	27,256	27,289	+0.1%
迅速流体継手	11,994	12,439	+3.7%
機械工具	8,605	8,257	-4.0%
リニア駆動ポンプ	4,365	4,514	+3.4%
建築機器	2,290	2,078	-9.3%
営業利益	2,342	1,182	-49.5%
迅速流体継手	2,067	1,963	-5.0%
機械工具	415	-600	—
リニア駆動ポンプ	-143	-121	—
建築機器	2	-58	—



■ 売上高

(百万円)

11,891 11,994 12,439



24/3期

25/3期

26/3期

■ 営業利益・営業利益率

23.7% 17.2% 15.8%

2,393 2,067 1,963



24/3期

25/3期

26/3期

増収減益

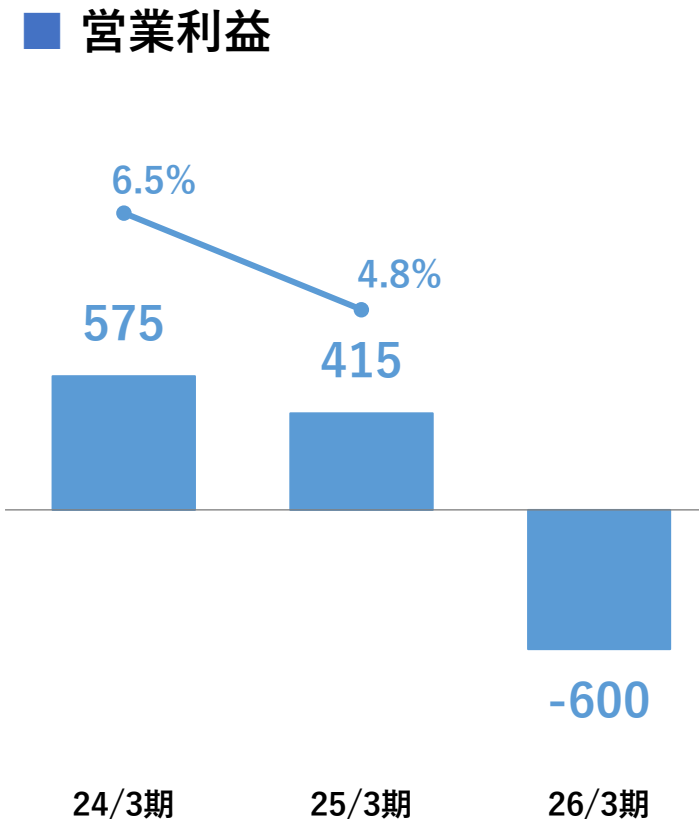
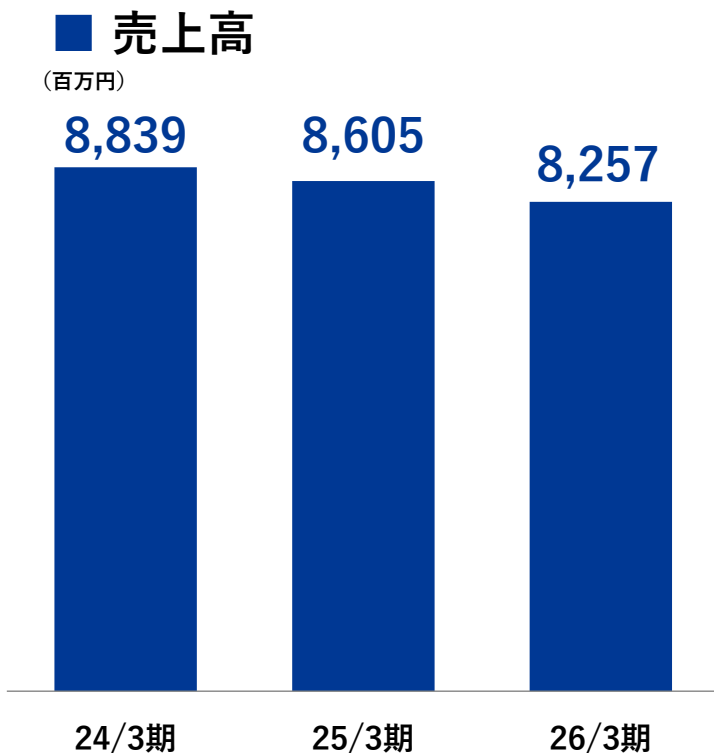
売上高

半導体業界向けと自動車産業向け需要の低調が続いたものの、産業機械向け製品の底堅い需要により前期比+3.7%

営業利益

材料費の高騰、製品構成の影響により前期比-5.0%

(単位：百万円)	25/3期	26/3期	増減率
売上高	11,994	12,439	+3.7%
営業利益	2,067	1,963	-5.0%
営業利益率	17.2%	15.8%	-1.4pt



減収減益

売上高

米州好調も、主力の国内売上が減少。主に建設業界向け製品の売上減少により、前期比 -4.0%

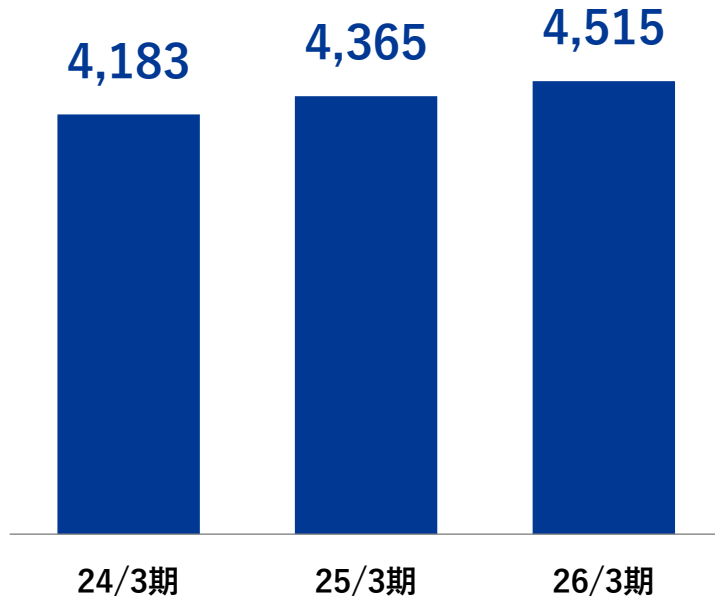
営業利益

新工場の固定費増加および消耗品の売上減少により、営業損失

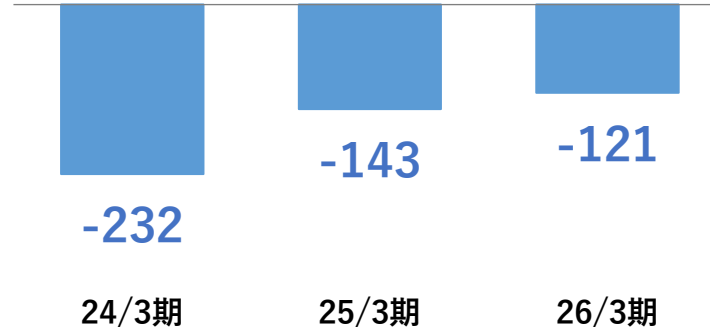
(単位：百万円)	25/3期	26/3期	増減率
売上高	8,605	8,257	-4.0%
営業利益	415	-600	-
営業利益率	4.8%	赤字	-

■ 売上高

(百万円)



■ 営業利益



増収増益

売上高

海外の売上増、特に欧州の売上増により、前期比+3.4%

営業利益

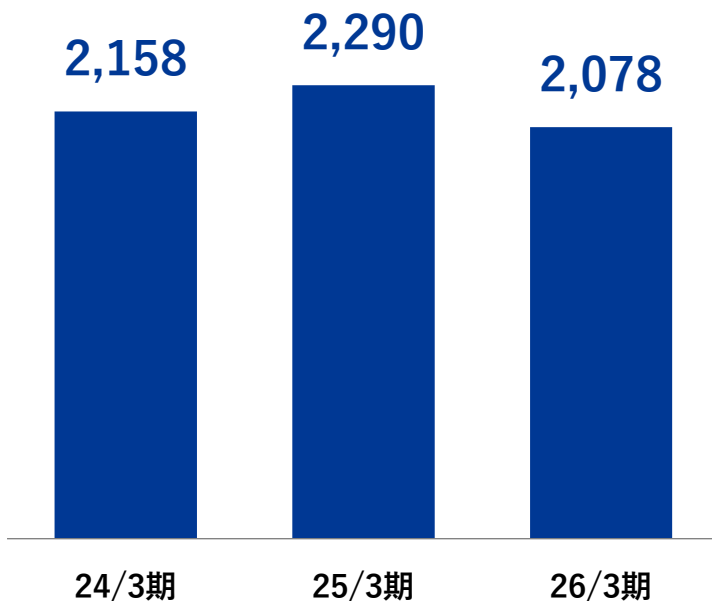
タイバーツ高の影響により仕入額が増加

増収影響により赤字額が縮小

(単位：百万円)	25/3期	26/3期	増減率
売上高	4,365	4,514	+3.4%
営業利益	-143	-121	-
営業利益率	赤字	赤字	-

■ 売上高

(百万円)



■ 営業利益



(単位：百万円)	25/3期	26/3期	増減率
売上高	2,290	2,078	-9.3%
営業利益	2	-58	-
営業利益率	0.1%	赤字	-

減収減益

売上高

建設業界における資材高騰や人手不足の影響から物件数が減少し、前期比-9.3%

営業利益

減収影響に加え、新工場の固定費増加により営業損失

	01 2026年3月期 決算概要	P.03
	02 2027年3月期 業績計画・株主還元	P.15
contents	03 中期経営計画2026の進捗状況	P.20
	04 トピックス	P.24
	05 参考情報	P.28

	26年3月期	27年3月期	増減率
	実績	予想	
(単位：百万円)			
売上高	27,289	29,190	+7.0%
迅速流体継手	12,439	13,146	+5.7%
機械工具	8,257	8,904	+7.8%
リニア駆動ポンプ	4,514	4,787	+6.0%
建築機器	2,078	2,353	+13.2%
営業利益	1,182	1,750	+48.1%
営業利益率	4.3%	5.5%	-
EBITDA	3,131	3,920	+25.2%
経常利益	1,466	1,890	+28.9%
特別利益	2,370	-	-
特別損失	587	-	-
親会社に帰属する 当期純利益	2,144	1,470	-31.5%
純利益率	7.9%	5.0%	--

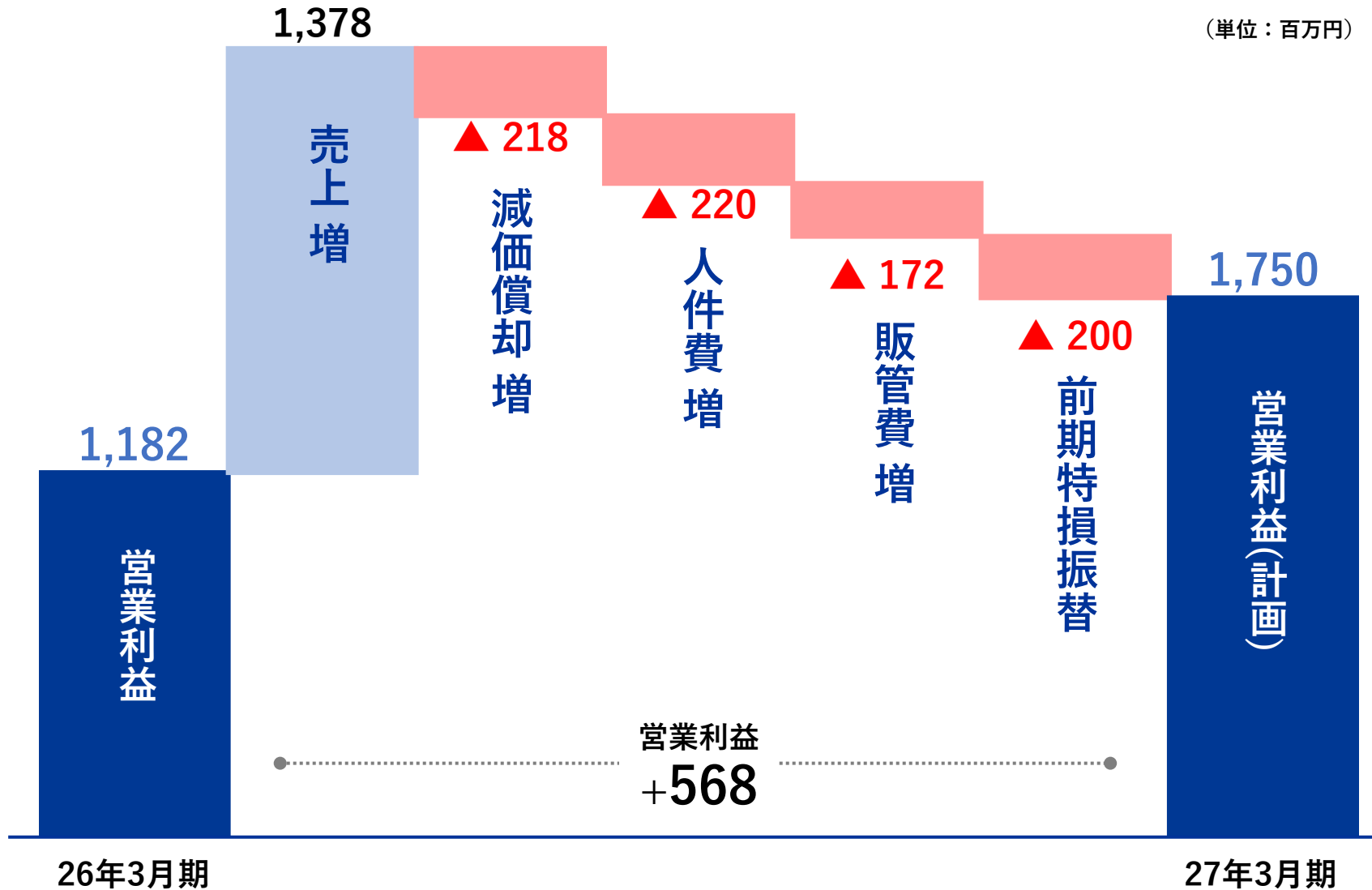
売上高 前期比 +7.0%

営業利益 前期比 +48.1%

- 環境対応製品の需要拡大を確実に取り込み、水素・新エネルギー関連事業への積極展開により売上の伸長を図る
- 国内外の製品価格改定、半導体業界、自動車業界、新分野向けの案件拡大により利益増加を見込む
- 前期の一過性要因（補助金収入）の消失により、親会社に帰属する当期純利益は減益を見込む

※中東情勢による不確実性については通期予想に織り込まず。

2027年3月期 計画の増益について



2027年3月期の営業利益は
17億50百万円を計画

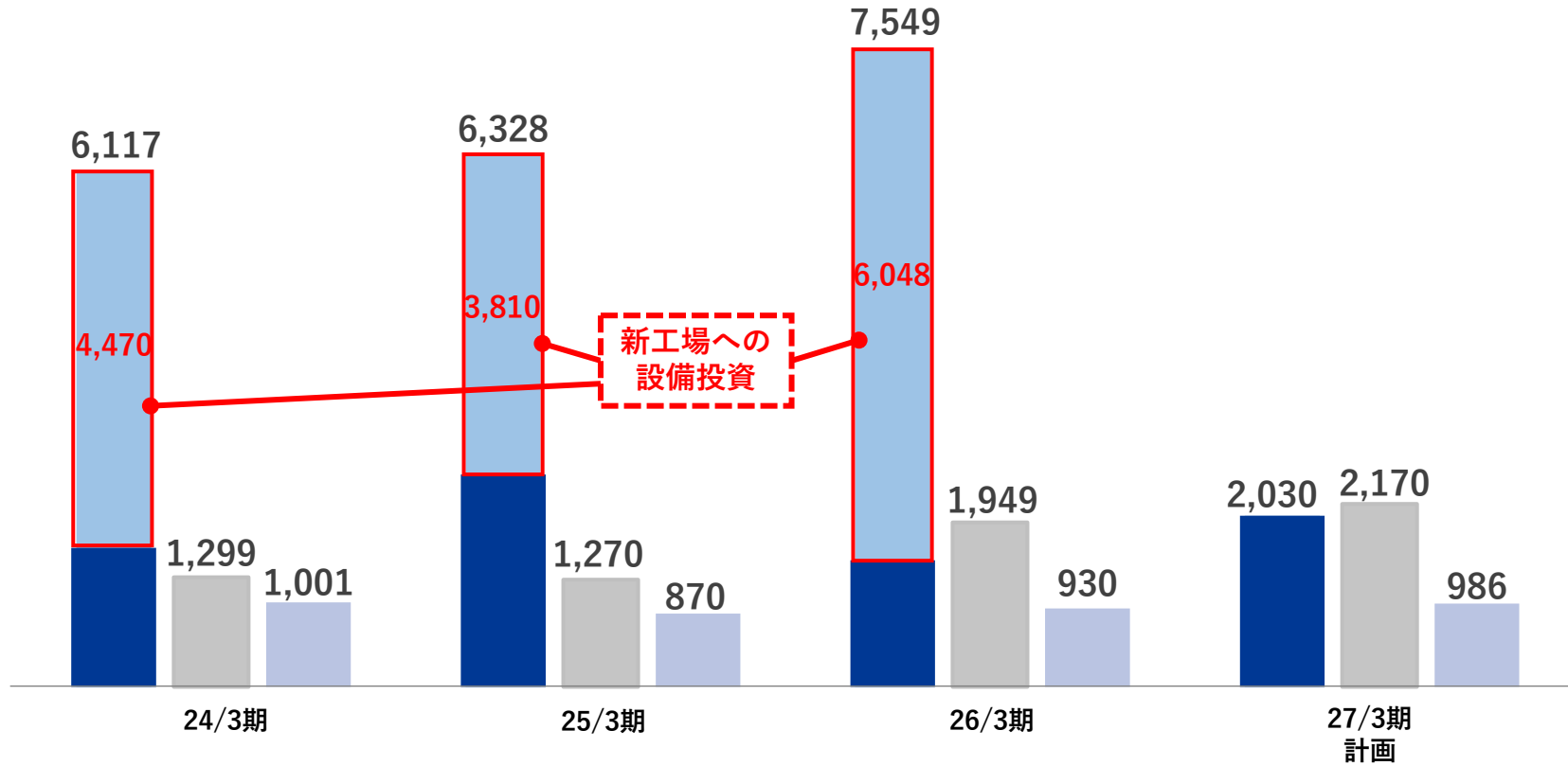
【内訳】

- 価格改定および製品構成による売上の増加により、13億78百万円増
- 前期に発生した稼働停止に伴う製造費用約2億円は、新工場稼働により今期は解消(一過性要因の減少を織り込む)

設備投資・減価償却

(単位：百万円)

■設備投資 (■新工場への設備投資) ■減価償却 ■研究開発費

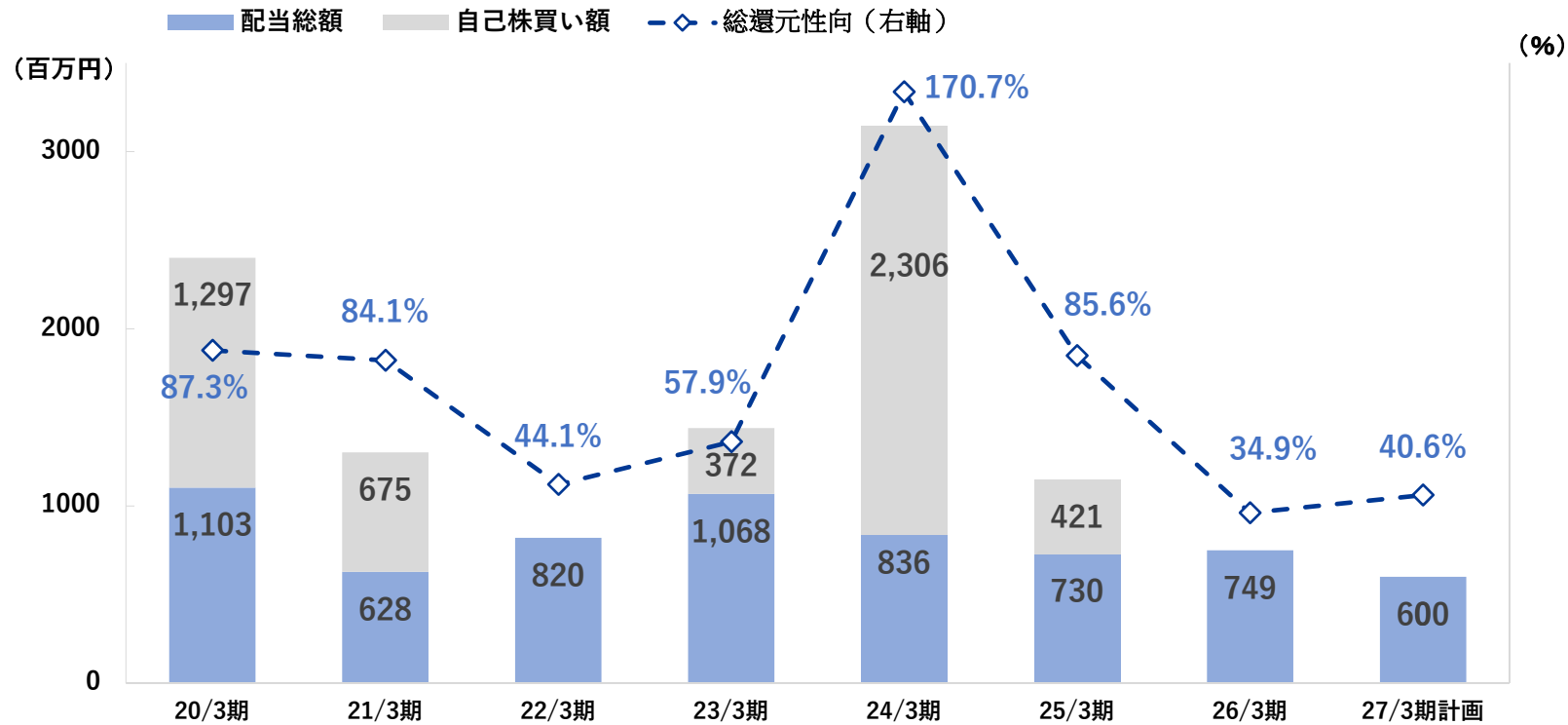


- 新工場への投資額は2024年3月期からの3期合計で143億円、減価償却は2025年6月より発生
- 2027年3月期の東北日東工器の減価償却費は11億円

新工場建設、工場の自動化推進、生産効率の向上

中期経営計画2026における株主還元基本方針

- 連結配当性向40%を目標



	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期計画
配当性向	40.1%	40.5%	44.1%	42.9%	45.4%	54.3%	34.9%	40.6%
自己株買いによる還元率	47.2%	43.6%	—	14.9%	125.3%	31.3%	—	—
総還元性向	87.3%	84.1%	44.1%	57.9%	170.7%	85.6%	34.9%	40.6%

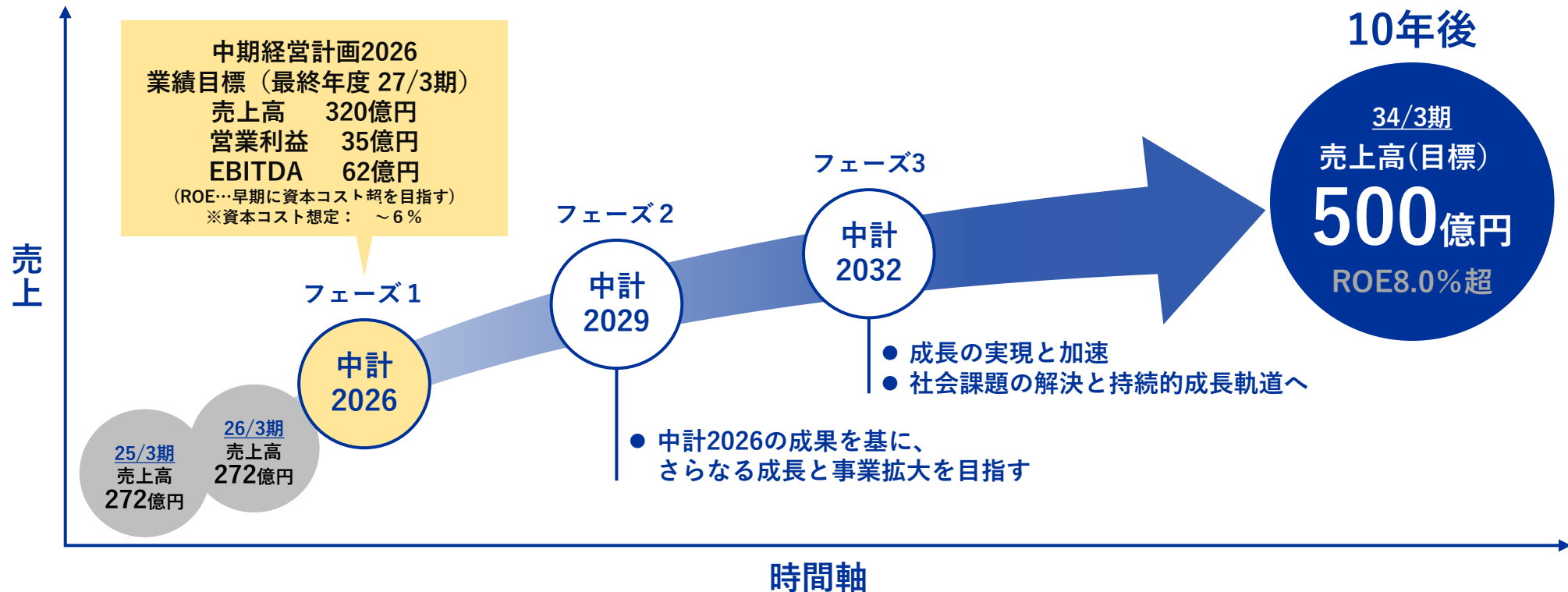
- 中期経営計画2026で掲げた株主還元方針、配当性向40%に則り年間配当は32円を想定。
- 次期中期経営計画に向けてキャッシュアロケーションを再検討。

	01 2026年3月期 決算概要	P.03
	02 2027年3月期 業績計画・株主還元	P.15
contents	03 中期経営計画2026の進捗状況	P.20
	04 トピックス	P.24
	05 参考情報	P.28

10年後の飛躍（ありたい姿の実現）に向けて稼ぐ力を再構築

中期経営計画2026の主なポイント

1. 収益力の強化と成長領域への投資拡大（水素・新エネルギー関連強化/自動省力化・環境対応製品/海外戦略強化）
2. 生産体制の最適化とコスト競争力強化（国内新工場稼働/グローバル生産体制の見直し/他社提携・M&A検討）
3. 持続的成長実現に向けた経営基盤構築（基幹システム刷新/DX化推進/サステナビリティ経営）



- 中期経営計画2026の数値目標は外部環境の変化や新工場の稼働に伴う収益性の悪化により未達となることが予想される
- 一方、計画期間中に新工場が稼働を開始したことに加え、水素・新エネルギー関連事業への積極展開により、次期中期計画における利益貢献を見込む

(億円)	2026年3月期実績	2027年3月期予想	2027年3月期目標
連結売上高	272.8億円	291.9億円	320億円
連結営業利益	11.8億円	17.5億円	35億円
EBITDA	31億円	39億円	62億円
ROE	3.6%	2.4%	早期に資本コスト超を目指す

■ 成果

- 収益力の強化と成長領域への投資拡大
 - ✓ 水素用迅速流体継手の乗用車採用は着実に進行
 - ✓ 自動化・省力化・環境対応製品としてロボット搭載用製品で7機種、環境対応製品で4機種の開発が完了
- 生産体制の最適化とコスト競争力強化
 - ✓ 新工場が計画どおり竣工
- 持続的成長実現に向けた経営基盤を構築

■ 課題

- 地政学リスクに伴う事業環境の変化を受け、全体売上の伸長が鈍化
- 成長領域である水素・自動化関連製品の売上貢献が立ち上がり段階であることや、新製品の立ち上げ遅れにより、売上への寄与が限定的
- 売上の伸長鈍化や材料費の上昇に伴い、収益性が低下
- 資本効率向上に向けた、株主還元及びバランスシートマネジメントが不足

- 価格改定の徹底、高付加価値製品の拡販、新工場の本格的な収益貢献により、利益創出への転換を推進
- 現行の中期経営計画2026の進捗を踏まえ、対応すべき課題について総合的な検証を実施のうえ、抜本的な対応策を含めた「中期経営計画2029」を2026年度中に公表予定

27/3期～

収益性向上への施策

価格改定の徹底

国内外において順次価格改定を実施。全製品群において適切な価格転嫁を推進

積極的な販売活動の展開

新分野開拓活動の強化、高付加価値製品の販売拡大
海外新規チャネルの開拓

グループ一体でのコスト構造改革

全社的なコスト見える化のさらなる推進
固定費の厳格管理と経営資源の最適配分

グループ全体での最適生産体制を追求

内製化推進・工程集約・自動化拡大による製造原価の低減

	01 2026年3月期 決算概要	P.03
	02 2027年3月期 業績計画・株主還元	P.15
contents	03 中期経営計画2026の進捗状況	P.20
	04 トピックス	P.24
	05 参考情報	P.28

自動化対応製品の拡充

産業ロボット搭載用の 自動化対応製品を発売



空気式高速多針タガネ
ジェットタガネ® JT-16-RBT



空気式ベルトサンダ ベルトン®
B-10-RBT-S/B-10-RBT



サステナビリティ

「サステナビリティサイト」を 当社ウェブサイトへ新設

- 当社グループのサステナビリティに関する考え方や取り組みを分かりやすくお伝えするため、新たに「サステナビリティサイト」を公開。
- 環境・社会・ガバナンス（ESG）に関する基本方針や価値創造プロセス、マテリアリティ、品質・環境への取り組み、社会・ガバナンス活動、ESGデータ集、統合報告書などを掲載。

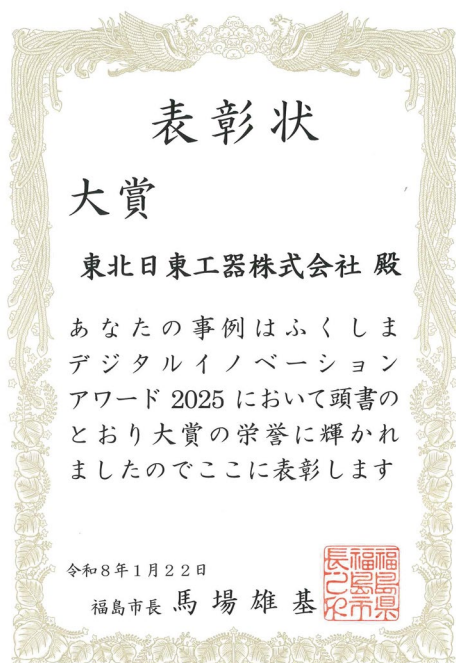


<https://www.nitto-kohki.co.jp/sustainability/>

DX推進

東北日東工器が「ふくしまデジタルイノベーションアワード」にて大賞受賞

- 福島市主催の「ふくしまデジタルイノベーションアワード」で初代大賞を受賞。外部倉庫向けにAI内蔵の入出庫アプリケーションを開発。出荷作業を6割削減したことが評価。



社会貢献

「メドマー」シリーズが 栃木県さくら市のふるさと納税返礼品の対象に

- 日東工器の家庭用マッサージ器「メドマー」4機種が、栃木県さくら市のふるさと納税返礼品として採用。（「メドマー」は栃木日東工器にて生産）

～技術で、人を想う～空気の力によるソフトな加圧力で快適なマッサージが行えます！
 家庭用エアマッサージ器 ドクターメドマー DM-4S | 日東工器 栃木県 さくら市 送料無料 ギフト



日東工器 家庭用エアマッサージ器 ドクターメドマー DM-4S

寄付金額 468,000 円
以上の寄付でもらえる

感想 0件 お気に入り

種類: 種類を選択してください

数量: 1 在庫: あり

ファスト寄付で申し込む 寄付カートに入れる

> ファスト寄付とは?

> 選べる使い道

> お問い合わせ先

Q 画像を拡大する



当資料に記載されている将来の業績の見通しは、本資料発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、これらの見通しと大きく異なる結果となる場合がありますことをご承知おきください。

取材のお申し込み先

経営企画部 石井・若松

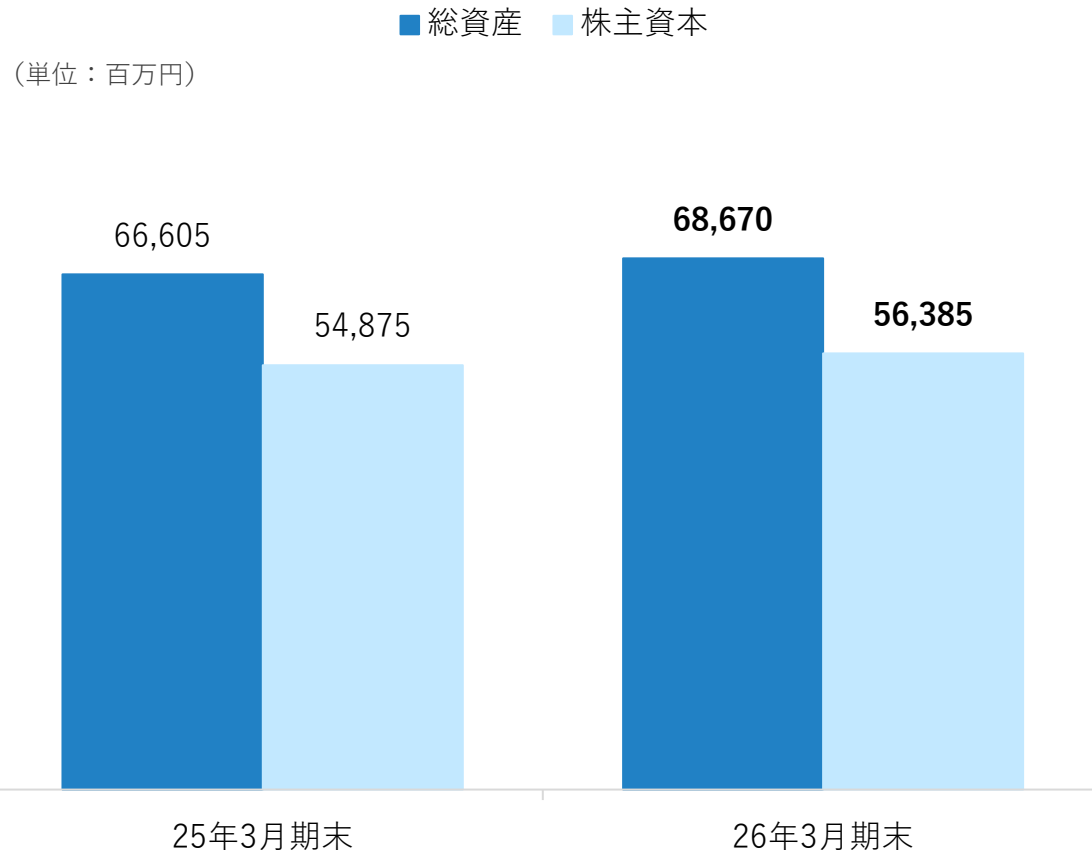
TEL : 03-3755-9970 E-mail : ir@nitto-kohki.co.jp

	01 2026年3月期 決算概要	P.03
	02 2027年3月期 業績計画・株主還元	P.15
contents	03 中期経営計画2026の進捗状況	P.20
	04 トピックス	P.24
	05 参考情報	P.28

新工場への投資により固定資産が増加

- 総資産：流動資産および現預金の減少の一方、新工場建設に伴う固定資産の増加により前期末から20.6億円増加
- 負債：前期末から6.9億円の減少

(単位：百万円)



	25年3月期末	26年3月期末	増減額
流動資産	38,687	35,116	-3,570
現金及び預金	20,305	16,219	-4,085
棚卸資産	10,373	10,157	-216
固定資産	27,917	33,553	+5,636
資産合計	66,605	68,670	+2,065
流動負債	4,174	4,134	-39
固定負債	4,246	3,592	-654
負債合計	8,421	7,727	-693
株主資本合計	54,875	56,385	+1,510
純資産	58,183	60,942	+2,759
負債純資産合計	66,605	68,670	+2,065

将来的な成長のための投資を継続的に実行

(単位：百万円)

	25年3月期	26年3月期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	2,709	4,174	1,465
投資活動による キャッシュ・フロー	-6,852	-4,798	2,053
財務活動による キャッシュ・フロー	-1,385	-1,039	345
現金及び現金同等物 の期末残高	13,429	11,749	-1,679